

講義科目名称： 心理学

授業コード：

英文科目名称： Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
高木 典子			
金1			
添付ファイル			

科目の概要	心理学という言葉は一般に広く知られているが、ではその内容についてはどうかという誤解が多く、巷では性格占いや読心術と同義で使われることも多い。ここでは本来の心理学の姿に迫り、客観的科学の一分野として成長してきた心理学について、今までのどのようなことが研究され、わかってきたのかを学ぶ。その過程で、私たちの身近な疑問をどのように科学的に考えることができるのかといった論理的な思考を鍛えることも目的とする。 教養としての心理学を学ぶという位置づけであり、個人の心の悩みを具体的にどのように解決するのかという臨床心理学の技法に関する内容は、この授業では扱わない。
授業の内容	第1回 初回ガイダンス 授業の進め方や受講上の注意についての説明 〈教科書pp. 6-11〉 心理学とは何か？ 心理学の研究方法 次回の予習プリント配布 第2-3回 私を動かすものは何？ 〈教科書pp. 12-35〉 学習心理学・発達心理学 教科書を読んで、興味を惹いたトピックス3つを予習プリントに記入しておくこと。 第3回に次回の予習プリント配布。 第4-5回 脳はどう働くのか？ 〈教科書pp. 36-53〉 心と脳の関連について。生理心理学・神経心理学 事前に教科書を読んで、興味を惹いたトピックス3つを予習プリントに記入しておくこと。 第5回に次回の予習プリント配布。 第6-8回 心はどう働くのか？ 〈教科書pp. 54-81〉 感覚知覚心理学・認知心理学 事前に教科書を読んで、興味を惹いたトピックス3つを予習プリントに記入しておくこと。 第8回に次回の予習プリント配布。 第9-11回 自分らしさとは？ 〈教科書pp. 82-117〉 個人差の心理学 事前に教科書を読んで、興味を惹いたトピックス3つを予習プリントに記入しておくこと。 第11回に次回の予習プリント配布。 第12-14回 私の居場所はどこ？ 〈教科書pp. 83-147〉 社会心理学 事前に教科書を読んで、興味を惹いたトピックス3つを予習プリントに記入しておくこと。 第15回 まとめと定期試験について 学びの振り返り 定期試験について 定期試験
学習到達目標	①心理学的なものの見方がわかる。 ②心理学において、どのような研究方法で何が明らかになったのかが複数言える。 ③心とは何かについて自分なりの考えを持つことができる。
授業の方法	講義形式および教科書を資料としたディスカッション形式とする。
成績評価の方法	受講態度(30%)・提出物(15%)・試験の結果(55%)の総合評価の予定。
教科書・テキスト	マーカス・ウィークス著「10代からの心理学図鑑」三省堂
参考書	アダム・ハート=デイヴィス著 山崎正浩訳「パプロフの犬―実験でたどる心理学の歴史」創元社 キャサリン・コーエン著「心理学大図鑑」三省堂 ウィル・バッキンガム著「哲学大図鑑」三省堂 下山晴彦・遠藤利彦編「心理学辞典 新版」誠信書房 大山正・藤永保・吉田正昭編「心理学小辞典」有斐閣 中島義明・箱田裕司・繁榊算男編「新・心理学の基礎知識」有斐閣
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	心理学の扱う範囲は非常に広く、授業内で扱うのはその一部である。事後学習として、心理学関連の書籍を最低1冊、自分で探して読むこと。
履修上の留意事項	履修にあたっての制限は特にないが、履修者には、授業時の発言をはじめとする能動的な授業参加を求める。

	欠席する際には、メールにて連絡すること。
オフィスアワー	水曜日の昼休み
担当教員への連絡方法	takaki_aoyama@yahoo.co.jp (@は半角に) 件名にクラスと名前を入力すること。
その他	